正宗白鳥全集

第二十一卷

評論　三

福武書店

正宗白鳥全集第二十一卷

一九八五年一月二十一日　印刷
一九八五年一月三十一日　發行

著者　正宗白鳥
發行者　福武哲彦
發行所　株式会社　福武書店
東京都千代田區九段南一-二-一八
〒一〇二　電話（〇三）二三〇-二三二
振替口座（東京）六-一〇五九七

印刷・製本　大日本印刷株式會社
定價　六九〇〇圓
第十六回配本（全三十卷）

（落丁・亂丁本はお取り換え致します）

©YUZÔ MASAMUNE 1984
《シリーズコード》ISBN 4-8288-2046-9
ISBN 4-8288-2139-2 C0095
NDC918 216 622p

正宗白鳥全集　第二十一卷

監修　井伏鱒二
　　中村光夫
編集　山本健吉
　　紅野敏郎
　　中島河太郎
装丁　山高登

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

第二十一卷　評論三　目次

鏡花の註文帳を評す　一五
鏡花作通夜物語評　一六
水蔭作『江島道』評　一八
風葉作『黒裝束』を評す　一九
花袋作『野の花』　一九
凉葉の遺著『仇浪』　二〇
西鶴作「おせん長左」　二一
葵山の『自殺』　二三
『ゆく春』を讀む　二三
泣菫の『ゆく春』　二五
『錦木』を讀む　二七
浦島を讀む　二八
天鼓第一號　二九
今月の小說　三〇
『梁川文集』を讀む　三一
『獨步集』を讀む　三三
風流線と二筋道　三三
新刊雜誌瞥見　三四
青春（春の卷）　三六
新春の諸雜誌　三六
片々錄　三八
机上雜觀　三九
机上雜觀　四〇
『破戒』を讀む　四一
小說『破戒』を評す　四二
出版界　四三

出版界　四三　机上雑觀　六〇
守田勘彌の傳を讀みて　四五　近刊雑誌　六二
自分の好む小說　四六　机上雑感　六三
『蒲團』合評　四七　机上雑感　六四
新年の文壇　四七　机上雑觀　六六
雑誌短評　五一　机上雑感　六六
書物と雑誌　五二　机上雑感　六八
書物と雑誌　五三　机上雑觀　六九
書物と雑誌　五四　机上雑觀　七〇
近刊雑誌　五六　机上雑感　七一
二十八人集を讀む　五七　机上雑感　七二
今月の雑誌　五八　机上雑觀　七三
机上雑感　五九　机上雑觀　七五

机上雜感　七六
今月の小說　九七
机上雜感　七八
讀んだ後で　一〇〇
机上雜感　七九
讀んだもの　一〇一
新年の雜誌　八一
今年の小說について　一〇三
最近の文學界所感　八二
『一兵卒の銃殺』を讀んで　一〇五
机上雜感　八三
加能君の『世の中へ』　一〇五
『田舍教師』合評　八四
內村全集を讀む　一〇六
机上　八六
『新生』合評　一〇九
机上　八七
『腕くらべ』その他　一〇九
泡鳴氏の『放浪』　八八
『暗夜行路』について　一一三
新年雜誌讀後の感　八九
讀んだもの一つ　一一五
『黴』の批評　九五
長短十箇の作　一一七
近松秋江氏の作品　九六
二つの小說　一一八

その傑作『疑惑』　二九
二つの小說　一三一
讀んだもの　一三三
魯庵氏の『思ひ出す人々』　一三四
雜感　一三七
方丈記鑑賞　一三八
雜誌拔き讀み　一三〇
藤村氏集を讀みて　一三四
『道草』について　一三五
有島武郎の『或る女』　一三八
『妄想』について　一四一
讀んだものから　一四五
雜感二三　一四六
新年の雜誌文學　一四八
『天うつ浪』と『大菩薩峠』　一五一
『日輪』を評す　一五八
二三の雜誌小說　一六〇
讀後感　一六一
二三の短評　一六四
雜誌雜評　一六五
『信州義民錄』について　一六六
『大岡政談』その他　一六八
讀後感　一七三
文藝春秋を讀む　一七四
坂本石創氏『結婚狂想曲』　一七六
憂鬱なる田園と谷崎氏の「藝」に就いて　一七七

『坊っちやん』について　一八〇
雜誌文壇を觀る　一八三
作品と批評　一八五
荷風とチエーホフ　一八八
福澤翁自傳讀後感　一九三
生田長江の「谷崎論」　一九八
「蘇峰自傳」　一九九
〝齋藤實盛の如く〟　二〇一
『武州公祕話』跋　二〇三
『幕府衰亡論』　二〇五
藤森氏の歷史小說　二〇六
雜誌瞥見　二一〇
讀後感　二一四
注意すべき新作　二一七
近頃のよみもの　二一八
『老記者の思ひ出』　二一九
强さ弱さ　二二一
都會人と田舍者　二二三
永井荷風氏著『おもかげ』　二二三
洋學年代記　二二四
新年號の二小說　二二五
片上伸全集　二二九
意外な名作　二三〇
傑作、凡作　二三一
五分の魂　二三三
源氏と平家　二三三

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

『宮本武藏』讀後感　二三五
舊人の新作　二四〇
個を通じての全體　二四一
懷疑と信仰　二四二
獻身努力の限度　二四三
作者の心掛　二四五
所感　二四六
二三の新作品について　二四六
小宮豐隆著『啄木鳥』　二四九
讀書雜感　二五〇
宇野浩二著『文章往來』　二五五
景敎の研究　二五六
讀書雜感　二五九
秋聲の短篇　二六三
金色夜叉　二六四
注目すべき作品　二七一
『東京の三十年』讀後感　二七三
『好色一代女』解題　二七八
文學雜感　二八二
『蒲團』解說　二八五
自然主義盛衰史　二八七
新作家の新作　四〇〇
近松の心中物　四〇八
讀後感　四一四
『花の素顏』その他　四一七
『風俗小說論』について　四二三

『宮本武藏』と『細雪』　四二七
異色あるユーモアと諷刺　四三九
讀書雜記　四四〇
淡々たる名作　五三〇
雜誌を拾ひ讀む　五三一
雪たたき　五三五
『黑髮　他二篇』解說　五三六
いろ〳〵の小說　五三九
命をかけた『金色夜叉』　五四三
德富蘇峰著『讀書九十年』　五四四
志賀潔著『ある老科學者とせがれとの對話』　五四四
假裝獨談會　五四五
「小說賞なし」について　五五四
辭書と『歌舞伎年代記』　五五五
『晶子曼陀羅』を讀む　五五五
高橋義孝著『森鷗外』　五五六
圓地文子著『ひもじい月日』　五五七
御手洗辰雄著『傳記正力松太郎』　五五八
『明治の作家たち』　五五九
『栖山節考』　五六〇
人生の屈辱　五六一
湯川秀樹著『旅人』を讀んで　五六三
『腕くらべ』と『妾宅』　五六四
『バナナ』を讀んで　五七〇
『夢の浮橋』を讀んで　五七二
作品と批評　五七四

『トマス・グレイ研究抄』　五七六
『座談會　明治文學史』　五七七
才氣ある女性作家の群　五八〇
解　題　中島河太郎　五八三

評論三

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com